

運搬台車 使用上のご注意

①選定

最大許容荷重・積載サイズ

台車には積載する荷物の重さ及び大きさの限度があります。

- ▶ 最大許容荷重や積載有効サイズ以内で積載してください。最大許容荷重や積載有効サイズを超えた積載はあらゆる事故につながります。絶対にしないでください。
- ▶ 積荷の重心位置が高くなるような積載や、部分的に偏った積載は転倒や荷崩れの原因となります。
- ▶ 積荷を高く積むと前方が見えなくなり、大変危険です。おやめください。

使用速度

台車は人の手による運搬用のみに使用し、4km/h以下の速度で運行してください。

それ以上の速度での運行や、動力での牽引は事故の原因となりますので絶対にしないでください。

また、引っ張り運転での使用は絶対にしないでください。

②使用上の注意

使用環境

酸・アルカリ・塩分・油・水中・-5℃～60℃の範囲外などの特殊な場所や著しい凹凸突起、段差のある場所で使用しないでください。

ストッパー

ハンドストッパーとフットストッパーがあります。ストッパーとは、走行中の台車を止めるものではなく、停止時に車輪をロックしておく機能です。走行中にストッパーをかけると故障・事故の原因になりますのでおやめください。

その他

走行中だけでなく、静止中であっても荷台の上には絶対に乗らないでください。

また、人を乗せることはもちろん、動物も荷台に乗せないでください。大変危険です。

③点検・保守・交換

台車を使用する前に必ず点検をしてください。

キャストと台車を接合している部分や、車輪を接合している部分のボルトまたはナットが外れたり緩んだりしている状態での使用は事故の原因となりますのでおやめください。

使用中にボルトが緩んできた場合は、荷台の上の積載物をすべて降ろしてから、増締めを行ってください。

また、傾斜のある場所に放置すると大変危険ですので絶対にしないでください。

ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などのお手入れは避け、固く絞った雑巾などで水拭きしてください。

ハンドストッパー、フットストッパーの調整について



ストッパーの効きが悪くになったら、ナットを締めることで調整ができます。

部品の交換

ストッパーの不具合、ハンドルが破損した場合はご相談ください。



ご不明な点があれば弊社にお問い合わせください。

次のような使用はおやめください。



最大許容荷重を超えた荷物の積載



けん引・引っ張り運転での使用



特殊な場所、著しい凹凸のある場所での使用



適応温度の範囲を超える環境での使用



部品が緩んだり外れたりした状態での使用



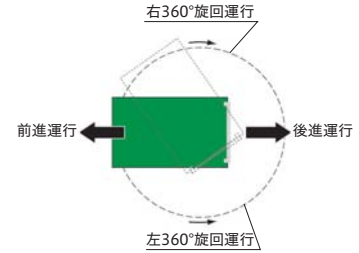
人が乗ったり、動物を積載しての使用

運搬台車 性能試験紹介

JIS B 8920:2014 に基づく（一部製品除く）

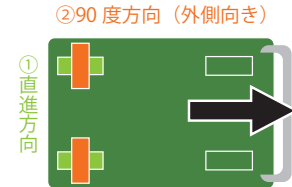
◆ 運行性能試験

平らなコンクリート路面上で、ハンドトラック（運搬台車）の積載面の2/3以上に最大許容荷重を均一に負荷し、前進運行、後進運行、左右 360°の旋回運行を行い、動きの安定性について確認します。



◆ 始動性能試験

水平に置かれた検査台^{※1}上で、ハンドトラック（運搬台車）の積載面の2/3以上に最大積載質量^{※2}を均一に負荷し、5分経過後に、キャストの向きを直進方向にした場合の始動力と、90度方向にした場合の始動力を測定します。積載荷重に応じた始動力を定めたJISの表に基づき、測定値がその数値以下であれば合格です。（2輪以下の運搬台車を除く）



◆ 荷重性能試験

1. 耐荷重性能試験

ハンドトラック（運搬台車）の積載面に、最大積載質量^{※2}の1.5倍の等分布荷重を負荷し、5分後に荷重を取り除いて異常の有無を確認します。

2. 各支点間の最大たわみ量の測定

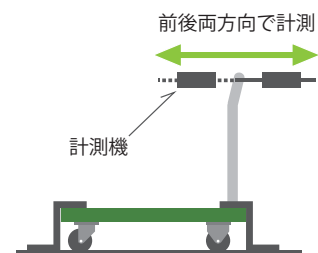
検査台^{※1}上のハンドトラック（運搬台車）の積載面に最大積載質量^{※2}の1.5倍の等分布荷重を5分間負荷した後、荷重を取り除き、各支点間（キャストの取付部から取付部までの間）のたわみを測定します。たわみ量が測定支点間距離の1/150以内であれば合格です。



◆ 袖（ハンドル）の強度試験

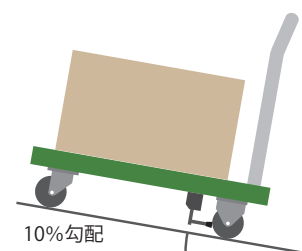
ハンドトラック（運搬台車）を固定し、袖（ハンドル）の位置に直進運行始動性能試験で測定した始動力の6倍の力を1分間加えた後、荷重を取り除いて異常の有無を調べます。この試験は前後両方向でそれぞれ計測します。

※片袖タイプと両袖タイプの運搬台車だけに適用の試験です。



◆ 駐車ブレーキ（ストッパー）試験

ハンドトラック（運搬台車）の積載面に最大積載質量^{※2}を等分布に負荷し、5.71°（10%勾配）の傾斜面に駐車ブレーキを作動させた状態で3分間放置して、動きの有無を調べます。少しでも動けば不合格です。



※1 検査台とは⇒水平に置かれた厚さ12mm以上の平らな鋼板
※2 最大積載質量とは⇒当カタログの最大許容荷重

運搬台車 特徴・機能

*ストッパーとはブレーキ機能ではなく、台車を停止させておく際に車輪をロックする機能です。

ハンドストッパー*

手を離すと車輪をロック。軽く押さえるとストッパーが解除され、スムーズなハンドリングが可能です。
(スチール・プラスチック運搬台車のみ対応)

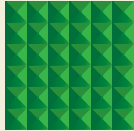


ロック時

ロック解除時

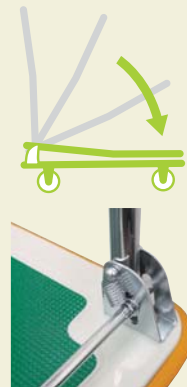
すべり止めマット

マットは、小さな凹凸の加工を施すことで積載物を滑りにくくする効果があります。
スチール運搬台車標準装備(鋼板補強カラー除く)



独自の折りたたみ機構

折りたたみハンドルの台車の場合、使用後は折りたたんでスッキリ収納でき場所をとりません。



フットストッパー*

外側のレバーでロック、内側のレバーでロック解除となります。
(プラスチック運搬台車のみ対応)



スポンジグリップ(オプション)

ハンドル上部にスポンジ加工を施すことで、握りやすく、ソフトで暖かい感触、滑りにくい効果があります。

*鋼板補強ボディ (DSA/DSB・P.133)

カラーシリーズ

CRAYON(DSA-C/DSE-C・P.134)は標準装備。

リサイクルへの分別

プラスチック運搬台車では、キャスタ取り付けにステンレスボルトを使用。
取替えがスムーズで、リサイクルへの分別も考慮しています。



バンジーコード(オプション)

プラスチック運搬台車では、荷崩れを未然に防ぐ、バンジーコードを用意しております。

S-61cm/M-107cm

(ともに収縮時サイズ)



強靱なボディ構造

スチール台車は2枚合わせのプレス鋼板ボディや取り付け金具にいたるまで、安全性を最優先に考えた耐久性があります。

最大許容荷重150kgの運搬台車の強度実験
(荷重500kgの負荷を与えられた場合)



シシク製スチール運搬台車



中国製スチール運搬台車

ハンドル構造

ハンドルはボディを貫通し、(スチール運搬台車にはオリジナルの樹脂ロックで補強)、極めて高く安定した強度があります。(対象外製品もあります。)



切断面



樹脂ロック

S: ミニロック M: マイロック

選べるキャスト

各種運搬台車において、キャストのSISIKUならではの豊富なラインナップから、お選び頂けます。
ラインナップは一例です。他キャストについてもご相談ください。



標準キャスト

ゴム車輪
WJ



ウレタン車輪
UWJ



空気入車輪
AIJN6-2G



セミニューマチック輪
SPMJN



ジェンゴム車輪
LWJP



ジェンゴム車輪
WWJP

【ベアリング種類】 **CB** プレスベアリング **JB** ラジアルボールベアリング **NBS** ステンレスニードルベアリング **OL** オイルレスプッシュ
【金具種類】 J…自在正方形ピッチ JP…自在長方形ピッチ JN…自在正方形長穴ピッチ K…固定長方形ピッチ KK…固定正方形ピッチ

ストッパー付キャスト右・左(オプション)

ストッパーには自在・固定それぞれに右側仕様と左側仕様があります。左右組み合わせるとストッパーがかけやすくなります。プラスチックキャスト、空気入車輪付AIJ/AIK-2.00-4にストッパーはございません。その他詳しくはお問い合わせください。



(受注生産)



自在

左

右



固定

左

右

製品記号

右側仕様	AIKB 6-2G	WJB-130	WKKB-130
左側仕様	AIKBL 6-2G	WJBL-130	WKKBL-130

左ストッパーご要望の際は製品記号にLを入れてください。

ストッパーとはブレーキ機能ではなく、台車を停止させておく際に車輪をロックする機能です。